様式３（2020.08改）

作成日　令和　２年　１１月　１０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム設楽の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	毎年手作りのお茶が小学校から届いています。本年はコロナ禍のため愛らしい生徒からの手渡しはないものの、「コロナでおじいちゃん、おばあちゃんに会えないけど、また遊びに行くよ。元気でね」とのメッセージが届き、それらが掲示された玄関では、立ち寄った家族が「あっ、うちの孫のだ」と歓ぶ姿も在り、コロナを忘れる仄々とした関係が持続しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	令和2年度第1回運営推進会議（4月24日）は、新型コロナウィルス感染症の緊急事態宣言（愛知県独自）が発令中だった為、書面開催としています。4月は集まることは中止との電話をメンバーに入れるとともに2ヶ月分の活動内容を送付のうえ、口頭で「意見なし」と確認しています。6月は通常開催、8月は利用者と職員は欠席として、状況をみて臨機に対応しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	設楽町は「人に優しい街づくり条例」が敷かれるとともに、「僕らができることは何でも」と声をかけてくださり、親身な関わりが常にあります。フェイスシールド・マスク・非接触体温計等必要備品の支給に留まらず、陰圧装置（無菌状態となる）を全額補助金で取り付けてくださった例や、行楽の車で道路がふさがれた際には「此処は緊急車両が通り抜けできるようにスペースを空けてください」と看板が速やかに設置されたこと等、行政の温かな支援は枚挙に暇がありません。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	縫物が得意だった利用者には職員が家宅から不用となった布や材料を持ち込み、また針に糸を通す手伝いをすることでやりたいことが継続され、現在は男性利用者の下着などに名前を縫い付けることもやってくださっています。家族との面会も「外でなら」と継続し、寒くなったら諸所工夫しようと検討しており、「絶対だめ」ではなく「なるべく会わせてあげたい」との態勢でいます。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										